基本方針 (大目標)

「包摂的成長」の実現に向けた支援

<u>標)</u>	要条件である。フィリピン に運輸交通インフラに関 間24.5億ドルとされている 投資・ビジネス環境改善 回廊(スービック、クラー いる。また、インフラ設備 制度改善も必要とされて また、日フィリピン経済	での投資・ビジネスにおける問題点は、政府の非効率性にしては、先進ASEAN諸国中で最も低い評価である(Global Co る。 春の観点から、大首都圏の混雑緩和・物流改善を図るためし フ、マニラ、バタンガス)を主体とする大首都圏における高速 への投資を呼び込むために、適切なPPP(Public Private Pa いる。	長は、フィリピン政府が掲げる「包摂的成長」(Inclusive Growth)のための必 並んでインフラ不足(既存インフラの不十分な活用を含む)が挙げられる。特 Competitiveness Report)。また、首都圏の交通渋滞による経済損失は、年 こ、物流網と軌道系交通を中心とする公共交通ネットワークの拡充及び成長 道路ネットワークの拡充による一極集中緩和・物流円滑化が必要とされて artnership)のスキーム構築、再生エネルギー固定価格買い取り制度等の D強化の効果発現を促進する観点からも、PPP等官民連携や民間投資の誘	特 ルギー、水環境等のインフラ整備や、インフラ整備の実施に必要な行政能力の向上等への支援を実施す PPPに関しては、法的枠組み等のスキーム構築、案件形成と適切な計画の策定、維持管理、現行プロ るよう、行政能力の向上を支援する。 長								
					実施期間							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度以降	- 支援額 (億円)	備考
			総合交通実施·管理	個別専門家			-					
			総合交通計画管理能力向上プロジェクト	技プロ							2.40	
			道路計画管理	個別専門家		<u> </u>						
			次世代航空保安システム整備計画	有償					F		220.49	
			道路・橋梁の建設・維持に係る品質管理向上プロジェクトフェーズ2	技プロ							3.50	
			マニラ首都圏大量旅客輸送システム拡張計画	有償							432.52	
		雇用創出をもたらす持続的経済成長の達成に必要な内 外からの投資促進に向けて、首都圏の運輸・交通網、エネ	環状3号線建設事業準備調査	協準		<u> </u>						
		ルギー、水環境等の重要インフラ整備を支援する。 また、ハード面のみならず、維持管理を含めたサービス	クラーク空港高速鉄道(通勤線区間事業)準備調査	協準							2.40 2.40 220.49 3.50	
		改善、関連政府公社等における経営改善を含めた財政管理、事業計画立案・運営管理能力の強化、規制緩和、 PPP等官民連携などの観点からの支援も実施することに	天然ガスパイプライン建設事業準備調査	協準			-					
		PPP等官氏連携などの観点からの支援も美施りることにより、フィリピン政府自らのインフラ整備能力の向上を図る。	マニラ首都圏ビジネス中心地区マストランジット建設事業準備調査	協準								
			道路改良·保全計画	有償							408.47	
			中部ルソン接続高速道路計画	有償							227.96	
			幹線道路バイパス計画(Ⅱ)	有償							45.91	
			物流インフラ開発計画	有償							303.80	
			メトロマニラ立体交差建設事業(VI)準備調査	協準								
			マニラ首都圏主要橋梁耐震補強事業準備調査	協準								
1			包括的PPP能力向上プロジェクト	技プロ							5.00	
			課題別研修(7件)	課題別研修他								
成長に向			日ASEAN交通分野における環境に関する行動計画	国土交通省技協		<u> </u>						

		物流分野キャパシティ・ビルディング	国土交通省技協						
		日ASEAN航空セキュリティープロジェクト	国土交通省技協						
		日ASEAN海事セキュリティプログラム	国土交通省技協		 				
		日ASEAN港湾技術共同研究プロジェクト	国土交通省技協						
		アジア人船員国際共同養成プロジェクト	国土交通省技協		 				
		メトロセブ都市開発ロードマップ作成支援調査	その他						
		メトロセブ水道区上水供給改善計画準備調査	協準						
		メトロセブ水道区上水供給改善計画	無償			-		11.65	
		「地方都市水道整備事業(Ⅲ)(カガヤン・デ・オロ水道区)」に係る援助効果 促進調査	その他	-					
		セブ市浄化槽汚泥の脱水装置の普及・実証事業	中小企業支援						
		セブ市資源循環推進事業創出に関する普及・実証事業	中小企業支援						
		移動式砂ろ過浄水装置及びろ過池更生システムの普及・実証事業	中小企業支援						
	日本の民間部門や自治体との連携も図りつつ、マニラ首 都圏への一極集中を緩和し、包摂的成長を実現する観点	新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業	有償				_	107.82	
センフラ整備プログラム		新ボホール空港建設に係る持続可能型環境保全プロジェクト	技プロ						
	援する。	ミンダナオ島南部地域回廊補修事業準備調査	協準		•				
		イフガオ州小水力発電計画	無償					8.93	「気候変動対策支援」にも
		イサベラ州小水力発電計画	無償					1.47	「気候変動対策支援」にも
		フィリピン沿岸警備隊海上安全対応能力強化計画	有償					187.32	
		沿岸警備通信システム強化計画	無償	_			_	11.52	
		海上法執行実務能力強化プロジェクト	技プロ						
		環境開発計画	有償					248.46	「気候変動対策支援」にも
		草の根技術協力事業	草の根技協						
		課題別研修	課題別研修他						

	業構造の転換の制約とな 極めて重要である。 特に、我が国はフィリピ が発効し、投資を含めた	なっており、豊富な労働力を背景とした潜在経済成長率の達 ペンにとり輸出入とも最大の貿易相手国であるなど、両国の新経済関係の深化が期待されており、協定に基づいて様々な な議の場となっている。これも踏まえ、我が国を含めた諸外国	さく、かつ2000年以降漸減している。低調な投資は製造業の振興を含む産 「成、及びこれに伴う貧困削減のためには内外からの投資を促進することが	フィリピン政府が取り 日フィリピン経済連	った経済成 J組む行財I [携協定(JF	な改革を支 PEPA)発効	援し、フィリ 後の日比郿	ピンの中長 間の取り組み	:期的開発 みに貢献し	に向けて重要 、ひいては日	となる民間投 比間の経済関	D向上、債務管理能力の向上など 資の促進を図る。 関係の更なる強化を図るという観 こ資する案件形成を行う。
							実施	ō期間			支援額	
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度以降	(億円)	備考
			税関個別アドバイザー	個別専門家								
			地上デジタル放送/緊急警報システム導入支援アドバイザー	個別専門家								
			船舶安全政策・造船産業近代化アドバイザー	個別専門家								
開発課題1−2 (小目標)			包括的国家政策競争政策のための能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ								
投資環境整備			地場産品競争力強化のための包装技術向上プロジェクト	技プロ					-			
		持続的で投資を伴った経済成長に向け、マクロ経済の 安定と行政能力向上を図るため、徴税能力の向上、債務	国際課税/移転価格税制に係る国別研修	国内研修								
		管理能力の向上などフィリピン政府が取り組む行財政改革を支援し、フィリピンの中長期的開発に向けて重要とな	全国産業クラスター能力向上プロジェクト	技プロ			2.90					
	投資環境整備プログラ ム	る民間投資の促進を図る。 日フィリピン経済連携協定(JPEPA)発効後の日比間の	情報処理技術技術者試験、スキル標準	経済産業省技協								
		取り組みに貢献し、ひいては日比間の経済関係の更なる 強化を図るという観点から、種々の制度整備支援や関連 分野の人材育成支援等、日比間の経済活動の自由化・円	鑑識技術向上	国別研修								
		滑化に資する案件形成を行う。	人材育成奨学計画(2013年度)	無償							2.63	
			人材育成奨学計画(2014年度)	無償					-		2.39	
			青年海外協力隊及びシニア海外ボランティア	JOCV/SV								
			草の根技術協力事業	草の根技協								
			課題別研修	課題別研修他								
			現地国内研修	課題別研修他								

	災害など、世界で最も自れば、フィリピンは気候 常的に頻発する豪雨に	然災害に見舞われる国の一つである。特に洪水による農業 を動による台風被害増加の影響を世界で最も受けやすい国	いら、熱帯性低気圧/台風、洪水、土砂災害、地震、津波、火山活動に伴う	こよ ナンスの問題(比側による維持管理、住民への情報提供など)にも着目しつつ、本邦の技術・知見を活用してソフト・ハードの 、日 策を積極的に展開する。 ^{後な}										
							実施	期間			支援額			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度以降	(億円)	備考		
			パッシグ・マリキナ川河川改修計画(II)	有償							85.29	「気候変動対策支援」にも		
			パッシグーマリキナ川河川改修計画(皿)	有償							118.36	「気候変動対策支援」にも		
			洪水リスク管理計画(カガヤン川、タゴロアン川、イムス川)	有償						-	75.46	「気候変動対策支援」にも		
			洪水リスク管理事業(カガヤン・デ・オロ川)準備調査	協準										
			ピナツボ火山災害緊急復旧計画(III)	有償							76.04			
			災害復旧スタンドバイ借款	有償	_						500.00	「気候変動対策支援」にも		
開発課題2-1			気象レーダーシステム整備計画	無償							33.50	「気候変動対策支援」にも		
(小目標)			広域防災システム整備計画	無償					10.00	「気候変動対策支援」にも				
害リスク軽減・管理			地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進プロジェクト	科学技術							4.20			
		フト(住民の適切な避難のための対策強化をはじめとし た、制度強化)の両方の観点からの支援を行う。その際、 対象地域の地方自治体(LGU)の能力等も踏まえ、維持管	気象観測・予報・警報能力向上プロジェクト	技プロ					_		2.50	「気候変動対策支援」にも		
		理体制の在り方や組織強化への支援も実施する。さらに、 本邦の経験を踏まえ、様々なインフラの耐震化の促進や、	災害リスク軽減・管理能力向上プロジェクト	技プロ							3.55	「気候変動対策支援」にも		
		災害リスク(気象、地震津波、火山等)の啓発にも力を入れる。突発的な自然災害に対しては、迅速な緊急支援、復	総合治水	個別専門家								「気候変動対策支援」にも		
		旧・復興支援を検討する。さらに災害時の被害軽減に資す る流域管理(森林管理等)を含む支援も実施する。	水文気象情報システムの戦略的構築を通じた洪水予警報の統合的データ マネジメント能力強化プロジェクト	技プロ							3.00			
			災害リスク管理(DRRM)	個別専門家								「気候変動対策支援」にも		
			パッシグ河予警報システム事業復旧支援プロジェクト	技プロ								「気候変動対策支援」にも		
			森林管理計画	有償							92.44	「気候変動対策支援」にも		
			台風ヨランダ災害緊急復旧復興支援プロジェクト	開発計画							10.0	「気候変動対策支援」にも		
			台風ヨランダ災害復旧・復興計画	無償					-		46.00	「気候変動対策支援」にも		
			青年海外協力隊	JOCV										
			草の根技術協力事業	草の根技協								1件は「気候変動対策支援 載		
			課題別研修	課題別研修他										

	常気象・地球温暖化(台 ことができないでいる。そ る貧困世帯にとっては、	風・洪水、エルニーニョ)、そして依然として低い生産能力に その結果、フィリピンは、毎年、国内のコメ消費量の約1割を軸	やコメ価格の安定化等のための各種政策を実施してきた。しかし、近年の異 起因して、年平均2%で増大する人口に、安価で十分なコメを安定供給する 耐入する、世界一のコメ輸入国となっている。特に、全人口の3割近くを占め 特にコメ)価格の高騰は生活に深刻な影響を与えることになる。また、就労	よる既存灌漑施設の までの、ポストハー・	の連携を図り の有効活用や ベストから加 島、気候変動	や、生産主 [。] エ・流通過 等による所	体である農 社の改善・ 「得喪失リス	民・水利組 近代化、農 、クが今後ス	合等への習 れにおける 大きくなると	営農指導・能 る非農業所得 予想されてし	力強化を支 向上策とし いることも踏	援する。また、圃場から市場に至る
							実施	匝 期間			支援額	
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度以降	(億円)	備考
			ARC支援事業地区受益者能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ								
			農地改革インフラ整備計画(Ⅲ)	有償			-				118.02	
			第二次農地改革地域橋梁整備計画(ウミライ橋)	無償					-		13.94	
			ミンダナオ持続的農地改革・農業開発計画	有償					_		60.63	
			灌漑セクター改修・改善計画	有償							61.87	
			国営灌漑システム運営・維持管理改善プロジェクト	技プロ						-	2.60	
			アグリビジネス政策・計画アドバイザー	個別専門家								
開発課題2−2			農業支援政策金融事業	有償							146.08	
(小目標)			農産物流通IT導入普及·実証事業	中小企業支援								
食料安全保障		農業生産の向上・安定化や農業所得の向上を図るため、適切且つ持続的な運営・維持管理による既存灌漑施	ミルクフィッシュ養殖事業における太陽光発電利用の普及・実証事業	中小企業支援				-				
		設の有効活用や、生産主体である農民・水利組合等への 営農指導・能力強化を支援する。また、圃場から市場に至	スプレードライヤを利用したココナッツシュガーの生産量拡大に向けた案件 化調査	中小企業支援								
	食料安全保障プログラ ム	るまでの、ポストハーベストから加工・流通過程の改善・近 代化、農村における非農業所得向上策としてのアグリビジ	地域分散型バイオエタノール製造システム普及案件化調査	中小企業支援								
		ネス等を支援する。また、水資源の枯渇、気候変動等によ る所得喪失リスクが今後大きくなると予想されていることも 踏まえ、かかるリスクへの各種対応策(金融アクセスの改	バイオガス発電技術普及案件化調査	中小企業支援								
		着、保険の拡充、起業/就業による所得多様化等)の整備を支援する。	草の根・人間の安全保障無償	草の根								
			草の根技術協力事業	草の根技協			-					
			アジア食料生産力向上農業人材育成事業	農林水産業技協								農水省ODA事業
			アジア途上国のキャパシティ・ビルディング強化事業	マルチ								農水省 ASEAN事務局拠出金
			アセアン+3中長期需給情報整備支援事業	マルチ								農水省 ASEAN事務局拠出金
			アセアン+3緊急米備蓄確立支援拠出金事業	マルチ								農水省 ASEAN事務局拠出金
			「農業生産環境の変化に適応した持続可能な農業栽培技術の開発」事業 のうち、「気候変動に適応した水稲栽培システムの開発」	マルチ								農水省 国際稲研究所(IRRI) 拠出金
			東南アジア地域持続的水産業推進事業	マルチ								農水省東南アジア漁業開発セン ター(SEAFDEC)拠出事業
			青年海外協力隊	JOCV								
			課題別研修	課題別研修他			-					

仮 ク 二 - - - - - - - - - - - - 	促進、教育と保健医療の	計画(2011-2016年)においては「Inclusive Growth」(包摂的」 の充実を重要政策としている。保健医療については「Universa 加入者増加等)の3点を特に重視した改革を実施している。	rsal Health Care」として、医療施設整備、MDGsの達成、ファイナンシャル・リス	するよう、医療施設の充実、MDGs達成に資する地域に根ざした保健医療支援を実施し 支援を検討する。教育分野については産業人材育成の観点から「K+12」(幼稚園及び 導入に向けた教育制度改革)への支援を実施しており、今後は同観点から高等教育レ 実施期間								育12年という国際標準の全
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度以降	支援額 (億円)	備考
			保健アドバイザー	個別専門家								
開発課題2-3 (小目標)			コーディレラ地域保健システム強化プロジェクト	技プロ							4.80	
			東ビサヤ地域母子保健サービス強化プロジェクト	技プロ							4.20	
	置きつつ、中心政策である「Universal Health C して、貧困層に裨益するよう、医療施設の充実	M健区源に 20 Cla、利 M健以 R 20 - 20 0 C 心 現 に	レプトスピラ症の予防対策と診断技術の開発プロジェクト	科学技術							3.50	
7ティネットの整備		置きつつ、中心政策である「Universal Health Care」に対応して、貧困層に裨益するよう、医療施設の充実、MDGs達	ー 小児呼吸器感染症の病因解析・疫学に基づく予防・制御に関する研究プロジェクト	科学技術							4.10	
		成に資する地域に根ざした保健医療支援を実施している。 今後は「Universal Health Care」に則した支援を実施する にしても、フィリピンの経済状況に鑑み、我が国の「国際保	外来手術センター・病院開発事業準備調査	協準) 備考)
	セーフティネット整備プ ログラム	健外交戦略」,「医療の国際展開」の文脈での協力,もしく は円借款活用を検討する。	草の根・人間の安全保障無償	草の根								
			技術教育モデル校支援プロジェクト	技プロ								
		基礎教育12年という国際標準の全面的導入に向けた教育 制度改革)への支援を実施しているが、今後は特に産業 人材育成の観点を強化し高等教育レベルを含めた支援を	日本NGO支援無償	日本NGO								
		検討する。	草の根技術協力事業	草の根技協								
			課題別研修	課題別研修他								
			青年海外協力隊及びシニア海外ボランティア	JOCV/SV								
			都市の脆弱層コミュニティーのための生計の機会の改善プロジェクト	マルチ							3.27百万米	世銀・日本社会開発基金

重点分野3 中目標	ミンダナオにおける平和と	≥開発(紛争影響地域における平和の定着)										
	【現状と課題】 2011年の戦略的パートナ 和平合意文書がフィリビ 法制度整備が必要となっ	スリム・ミンダナオ自 地域の将来の行政・ 行う。また、現地リン	8力の成果を 1治政府(ARM サービスを担 ノース(中央政 のための計画	IM)からバ う機関(バ 府機関、ナ ī策定や支	ンサモロ暫 ンサモロ開 、学、NGO等	定統治機構 発庁(BDA 痔)を有効に	∮への円滑ァ)や地方自∷ 活用し、生	な移行を支持 治体等)を対 計の向上や	爰するために、 す象とした制度 小規模インフ	協力を実施する。具体的には、ム 移行委員会(BTC) やバンサモロ 整備や人材育成に関する支援を ラに関する支援を行うとともに、中 員やその家族を含めた雇用・生		
							実施	期間			支援額	
開発課題3-1 (小目標)	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度以降	(億円)	備考
ミンダナオにおける平和と開発(紛争影響地域における平和の定			ミンダナオ紛争影響地域におけるコミュニティ開発のための能力強化プロ ジェクト	開発計画					3.90			
着)			ARMM稲作中心営農技術普及プロジェクト	技プロ								
		最終和平合意を踏まえ、今後設立予定の新自治行政機	バンサモロ包括的能力向上プロジェクト	技プロ							7.80	
		構(バンサモロ)の円滑な立ち上げを支援する。そのため に、バンサモロ体制構築及び行政官の人材育成を支援す るほか、住民の生計向上に焦点を当てた支援に特に重点	ミンダナオ紛争影響地域におけるコミュニティ開発計画協力準備調査	協準								
	(紛争影響地域における	るばか、住民の生計向上に焦点を当てた又接に特に重点 を置く。将来の経済開発を見据えた開発計画策定の支援 も行う。また、紛争影響地域の正常化のため、元戦闘員や	草の根・人間の安全保障無償	草の根								
			日本NGO連携無償	日本NGO								
			草の根技術協力事業	草の根技協								
			平和構築セミナー(日マ連携)	その他								
			課題別研修	課題別研修他								

	性が高い国とされ、気候 82.9%増加している。 フィリピン政府は2010年	変動の悪影響に対する適応能力強化の必要性が高い。毎	・暴風雨・洪水・干ばつによる被害が大きい。このため気候変動に対し脆弱 年2%の森林面積が減少しており、エネルギー起源CO2は90年と比べて 奏変動行動計画を策定済みであり、気候変動対策に向けた取り組みを強化										
							実施	期間			支援額		
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度以降	(億円)	備考	
			パッシグ・マリキナ川河川改修計画(II)	有償							85.29	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
			パッシグーマリキナ川河川改修計画(皿)	有償							118.36	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
			洪水リスク管理計画(カガヤン川、タゴロアン川、イムス川)	有償						÷	75.46	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
			気象レーダーシステム整備計画	無償							33.50	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
			広域防災システム整備計画	無償			ł				10.00	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
			災害復旧スタンドバイ借款	有償	_				•		500.00	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
			台風ヨランダ災害緊急復旧復興支援プロジェクト	有償 一 二 二 二 二 (借款 有償 一 一 一 一 一 急復旧復興支援プロジェクト 開発計画 二 二 一 一 一 日・復興計画 無償 二 二 二 一 一 最能力向上プロジェクト 技プロ 二 二 二 二 二		10.00	「災害リスク軽減・管理」にも記載						
			台風ヨランダ災害復旧・復興計画	無償					F		46.00	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
黄断的課題】	Æ		気象観測・予報・警報能力向上プロジェクト	技プロ							3.13	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
럋変動対策支援			災害リスク軽減・管理能力向上プロジェクト				3.55	「災害リスク軽減・管理」にも記載					
		気候変動に伴う負の影響を低減するとともに、温室効! えの排出を抑制し、脆弱性の克服を支援する。災害リ 低減を中心した取り得なにより、良鉄災害の被害を	総合治水	個別専門家								「災害リスク軽減・管理」にも記載	
	気候変動対策支援プロ	ク低減を中心とした取り組みにより、自然災害の被害を低減していく適応策、省エネルギー・再生可能エネルギーの 導入推進や低炭素排出交通へのシフトを含む緩和策、森	災害リスク管理(DRRM)	個別専門家			1					「災害リスク軽減・管理」にも記載	
		林減少および土地劣化率の削減に向けた森林管理支援、 政策面を含む支援に関連するプログラムローン等を展開	パッシグ河予警報システム事業復旧支援プロジェクト	技プロ								「災害リスク軽減・管理」にも記載	
		していく。	環境開発計画	有償			<u> </u>				248.46	「地方拠点開発に向けたインフラ 整備」にも記載	
			セブ市資源循環推進事業創出に関する普及・実証事業	中小企業支援								「地方拠点開発に向けたインフラ 整備」にも記載	
			統合的沿岸生態系保全・適応管理プロジェクト	科学技術			4				3.83		
			森林管理計画	有償							92.44	「災害リスク軽減・管理」にも記載	
			草の根技術協力事業	草の根技協			1					1件は「災害リスク軽減・管理」に 記載	
			天然ガスパイプライン建設事業準備調査	協準			ł					「大首都圏のインフラ整備プログ ム」にも記載	
			イフガオ州小水力発電計画	無償					<u> </u>		8.93	「地方拠点開発に向けたインフラ 整備」にも記載	
			イサベラ州小水力発電計画	無償					—		1.47	「地方拠点開発に向けたインフラ 整備」にも記載	
			青年海外協力隊	JOCV									
				課題別研修他			-						

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「投フロ」(=技術協力フロシェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「国別研修」、「其超別研修加」(=詳細設計)、「投フロ」(=技術協力フロシェクト)、「開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「自別研修」、「詳超別研修加」(=詳細設計)、「投フロ」(=技術協力フロシェクト)、「開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「算の根技協力(「二菜超別研修加」(=詳超別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青 年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法 人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブスキームを除く全ての無償資金協力)、「ノンプロ」(=ノン・プロジェクト無償及び中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力)、 「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償)、「一般文化」(=一般文化無償)、「草の根文化無償)、「有償」(=円借款)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業 製品・技術とODAのマッチング事業「ニーズ調査」、「案件化調査」および「普及・実証事業」、かつ中小企業連携促進基礎調査)、実線「―――」(=実施期間)、破線「----」(=実施予定期間)